

- 記事内容
- ☆第97回埼玉県中央メーデー
 - ☆第97回埼玉県中央メーデー写真集
 - ☆地域メーデー・前夜祭 開催模様
 - ☆政策フォーラム
 - ☆政策フォーラム 分科会
 - ☆2026春季生活闘争「第5回回答集計結果」/
「男女平等月間(6月)」の取り組み
 - ☆6月の行動日程/ワーカーズコープ
 - ☆あけぼのビル

第97回埼玉県中央メーデー

～平和で笑顔あふれる未来! 安心してくらせる社会を!～



4月29日(水)、大宮鐘塚公園にて「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してくらせる社会を!」をスローガンに、第97回埼玉県中央メーデーを開催しました。構成組織、推薦議員、来賓など約3,000名が参加しました。

オープニングでは、進行性の目の病と向き合いながらTOKYO2020パラリンピック閉会式や紅白歌合戦にも出演した白杖ダンサー・MORIKO JAPANが、迫力あるブレイキンパフォーマンスで会場を盛り上げました。



連合埼玉会長
今井 信博

今井会長の主催者挨拶では、「世界的な地政学リスクや米国の通商政策転換により国際社会は混乱し、物価上昇が国民生活を直撃した。中東情勢の緊迫化は原材料から最終製品まで影響を及ぼし、連合埼玉の多くの企業も大きな打撃を受けた。その中でも2026春闘では賃上げを軸に一定の成果を確保した。今後は相場感を踏まえ最大限の回答を引き出し、実質賃金1%の上昇をめざす。メーデーの歴史を継承しつつ、誰一人取り残さ

ない社会の実現に向け、「組織拡大・強化・防衛」を三位一体で進め、2030年に23万体制をめざす」と決意を示しました。

続いて来賓としてお招きした、大野元裕埼玉県知事、福祉事業団体を代表して近藤嘉埼玉労協理事長、清水勇人さいたま市長、熊谷裕人代表(立憲民主党埼玉県総支部連合会)、鈴木義弘会長(国民民主党埼玉県総支部連合会)からご挨拶をいただきました。

その後、JAM埼玉ニッター冷熱製作所労働組合の和智直斗さんより「働く仲間への応援メッセージ」をおこない、女性委員会の佐藤紀子委員長から「メーデースローガン(案)」、青年委員会の室伏真二幹事から「メーデー宣言(案)」を力強く読み上げられ採択されました。

最後に相羽副会長による「団結ガンバロー」三唱で式典を締めくくりました。

式典後のステージでは、今年初めて女兒向けアニメ「名探偵プリキュア」ショーを実施。握手会ではキャラクターとの対面に緊張しながらも笑顔で帰る親子の姿が見られ、参加者にとって心温まる思い出となりました。



埼玉県知事
大野 元裕 様



さいたま市長
清水 勇人 様



埼玉労協理事長
近藤 嘉 様



立憲民主党埼玉県連代表
熊谷 裕人 様



国民民主党埼玉県連会長
鈴木 義弘 様

写真で見る 第97回埼玉県中央メーデー写真集

式典の様子



メーデー式典司会
大谷 誠一事務局長
中村 和美幹事(女性委員会)



働く仲間への応援メッセージ
JAM埼玉 ネットー冷熱製作所
労働組合 和智 直斗氏



メーデースローガン採択
佐藤 紀子委員長
(女性委員会)



メーデー宣言採択
室伏 真二幹事
(青年委員会)



連合埼玉副会長相羽氏による
団結ガンパロー



団結ガンパロー



お楽しみ抽選会司会
吉田 秀喜事務局次長(青年委員会)
松本 英恵幹事(女性委員会)

会場の様子



会場全体の様子



中央ろうきん



こくみん共済coop



クッキープロジェクト



しびらきベーカリー



お菓子工房 菓菓



ドリンクコーナー



被災地・埼玉県物産コーナー



フードドライブ



献血



連合埼玉公認ローカル戦士センガン
(秩父鉄道労働組合公認)

地域メーデー・前夜祭 開催模様

さいたま市地域メーデー前夜祭

- ◆4月23日(木) RaiBoc Hall(市民会館おおみや) 小ホール
 - ◆参加者:来賓26名、組員90名 計116名
 - ◆式典、アトラクション、抽選会
 - ◆大室議長の挨拶の後、多くのご来賓の皆様よりご挨拶をいただき、新井副議長よりメーデー宣言(案)が読みあげられ、式典が終了しました。
- アトラクションでは、「しょぎょーむじょーブラザーズ」による世界でも類を見ないアクロバットダンスに、会場は歓声の渦となりました。抽選会では、今年も各構成組織より多くの景品を提供いただき、ビンゴ職人の異名を持つ斉藤さんと、労金さいたま支店の菊地さんとの爆笑抽選会の余韻の残る中、大室議長のガンパロー三唱で閉会しました。



本庄・児玉郡市地域メーデー

- ◆4月26日(日) 本庄市役所 南側駐車場
- ◆参加者:226名
- ◆式典、お楽しみ抽選会、デモ行進(本庄市役所→本庄駅北口)
- ◆来賓11名を迎え、構成組織からは多くの家族連れで参加いただき、賑やかな地協メーデーが開催できました。抽選会終了後の恒例「抽選用ボール」子供配布では、多くの子供がボール獲得のために集まりました。



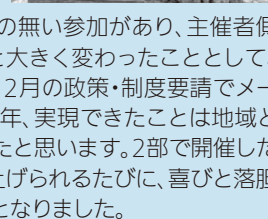
秩父地域メーデー

- ◆4月25日(土) 横瀬町民会館
 - ◆参加者:230名
 - ◆式典、募金活動、抽選会
 - ◆今年も秩父地域メーデーは、横瀬町民会館で行いました。天候に影響されることのない、室内での開催であり、参加された皆様には快適な式典を過ごしていただきました。
- 当日は、聯合埼玉竹内副会長をはじめ、多くの来賓の皆様よりご挨拶をいただき、式典終了後には、秩父鉄道労働組合公認のローカル戦士センガタンによるパフォーマンスや募金活動に協力いただきました。最後に豪華景品の当たる抽選会を行い、充実した半日を過ごせたと思います。引き続き、秩父地域で働く全ての仲間が安心して働き、暮らしていくために、誰一人取り残されることのない社会の実現をめざし、これからも組合活動を行っていこうと思えた1日でした。



北埼玉地域メーデー

- ◆5月1日(金) さきたま古墳公園(行田部会)
 - ◆参加者:120名
 - ◆式典、抽選会
 - ◆今年のメーデーは、天候には恵まれず大雨のなかでの開催となりました。参加者が減ってしまう懸念があったものの例年と大きく変わる事の無い参加があり、主催者側として嬉しい限りです。昨年と大きく変わったこととして、行田市長の出席があります。12月の政策・制度要請でメーデー出席の要請をしてから半年、実現できたことは地域との繋がりが深まった場面だったと思います。2部で開催したビンゴ大会では、番号が読み上げられるたびに、喜びと落胆の声が入り混じる楽しい時間となりました。
- ◆5月1日(金) 羽生市体育館(羽生部会)
- ◆参加者:96名
 - ◆式典、アトラクション
 - ◆今年も羽生市体育館にて第67回羽生地区統一メーデーを開催いたしました。生憎の雨で参加者が少ない状況でしたが、多くの来賓の方にもご臨席を頂きまして無事に終了できました。来賓として聯合埼玉鈴木副会長、山下副事務局長、地元の河田羽生市長や、労金、こくみん共済 coop、森田前衆議院議員に加え推薦議員の熊谷さん、高木さん、江原さんにも駆け付けて頂き『労働者の祭典』を盛り上げることが出来ました。恒例のお楽しみ抽選会も実施し、普段お話が出来ない他労組の方々との交流や横の繋がりが持てる良い機会となりました。



「2026年度政策フォーラム」を開催!

～政策・制度要請内容の実現に向けて～



5月19日(火)、大宮ソニックシティ国際会議場にて「2026年度政策フォーラム」を開催しました。当日は、執行部・構成組織・地域協議会役員・推薦議員など95名の方に参加をいただき、活発な議論がなされました。

午前中は、政治社会学者の木下ちがや氏を招き、「労働組合はなぜ政策・制度要求に取り組むのか」というテーマで講演をいただきました。

木下氏からは、連合がめざす与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制から大きく後退した現状、この危機がどこから生まれているのかを探り、その上で労働組合の政策・制度要求の意義を考えることをこの講演の課題とする。政策・制度要求を果たすためには、労働組合と政治が「新しい社会契約」を結ばなければならない段階で、地域コミュニティと労働組合がこれまで以上に結びつき、行政に対して、直接、政策・制度要求をやっていくことが重要などの内容で、ご講演をいただきました。

そして、午後からは4つのテーマを設定し、分科会をおこない、政策・制度要請を検討する上での課題や目指す方向性などについて議論を深めました。(詳細は5ページ)

今年度も昨年に引き続き、分科会の後半では、パネルディスカッションを取り入れました。パネラーには、講演をいただいた講師の皆様、推薦議員の皆様、構成組織役員の皆様に登壇いただき、それぞれの視点から発言をしていただきました。また、参加者からも多岐にわたる質問や意見が出され、予定時間を超えて論議がされた分科会もありました。

連合埼玉では今後、「政策フォーラム」の内容を踏まえ、「2026年度政策・制度要請」を策定していきますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。



木下ちがや氏



A分科会の報告をする
迫副会長



B分科会の報告をする
齋木副会長



C分科会の報告をする
相羽副会長



D分科会の報告をする
竹内副会長

2026年度政策フォーラム 分科会

A分科会 テーマ:働く者の生活を守り、地域経済を底上げする「公契約条例」の実現に向けて
講 師:連合東京 副事務局長 上本 俊之 氏

公契約条例がないことで、担い手不足や持続可能な経済(賃上げ)への対応が困難になる現状について改めて学びました。また、東京都内の自治体や近隣県における公契約条例の制定・施行状況、条例制定に向けた運動などについてご講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、埼玉県や越谷市の現状と課題、公契約条例制定までの進め方について各パネラーよりご報告をいただいた後、参加者を交えた意見交換がおこなわれ、大変有意義な分科会となりました。

パネル
ディスカッション

パネラー:連合東京 副事務局長
埼玉県議会議員
越谷市議会議員

上本 俊之 氏
白根 大輔 氏
後藤 孝江 氏

**B分科会** テーマ:AI・デジタル化社会における労働者の権利保護と埼玉独自の学び支援の構築について

講 師:体調不良により小林副事務局長代替説明

既に我々の職場にも、DXやAI導入の流れはきており、対応が必須の状況となっています。埼玉県は、それに対し「DX推進ハンドブック」を作成し、支援していますが、そこには我々労働者の権利保護が欠落しており、事前の労使協議の必要性や、対応するための学びなおし(リスクリング)の現在の状況について、ご講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、リスクリングについて他県の先進事例の紹介を受け、埼玉県独自の支援策を考える機会となりました。また、埼玉県の現在の状況についての説明を受け、労働者の権利保護の必要性について意見交換がおこなわれ、2026年度政策・制度要請内容について参加者全員で考える場となりました。

パネル
ディスカッション

パネラー:埼玉県議会議員
連合埼玉 副事務局長

細川 威 氏
小林 孝彰 氏

**C分科会** テーマ:ビジネスケアラーの現状と支援策について
～介護離職者をなくすためには～

講 師:日本ケアラー連盟 理事 中嶋 圭子 氏

多くの産業分野で労働力不足が顕在化しています。企業で働きながら家族の介護を担う「ビジネスケアラー(ワーキングケアラー)」は全国的にも増加しています。サブタイトルである「介護離職者をなくすため」の現状と支援策を考えるため、ケアラーの現状と支援策についてご講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、パネラーから、埼玉県での取り組み状況や構成組織でおこなっている対策などが報告され、ビジネスケアラーは“見えにくい”が確実に増加していること、企業・地域・行政の連携が不可欠であること、早期相談と柔軟な働き方が鍵であることが共有され、全体で考える場となりました。

パネル
ディスカッション

パネラー:日本ケアラー連盟 理事
埼玉県議会議員
富士電機労働組合吹上支部 書記長

中嶋 圭子 氏
泉津井 京子 氏
白戸 貴文 氏

**D分科会** テーマ:デジタル社会の安全の架け橋
～子どもを犯罪から守る、親が安心して働ける「埼玉モデル」の創設～

講 師:IT&CS研究所 明石 實正 氏

SNSが日常化する中、ネット上のいじめや差別的書き込みを防ぎ、家庭と学校が連携して情報モラルを育む支援施策についてご講演をいただきました。

続くパネルディスカッションでは、埼玉県の教育現場から寄せられる声や、子どもたちを取り巻く現在の状況、県議会での報告内容などを踏まえ、現状の課題と今後の方向性について活発な意見交換が行われました。

パネル
ディスカッション

パネラー:IT&CS研究所
埼玉県議会議員
埼玉教組 書記長

明石 實正 氏
田並 尚明 氏
椎名 久和 氏





連合:2026春季生活闘争 第5回回答集計結果(抜粋) 中堅・中小組合の健闘が続く! 短時間等労働者の時給引き上げ率は一般組組合員を上回る!

連合は2026春季生活闘争の第5回回答集計を5月12日(火)に公表しました。

【概要】

- 平均賃金方式で回答を引き出した4,046組合の加重平均(規模計)は**16,733円・5.05%**(昨年同時期比16円減・0.27ポイント減)となった。300人未満の中小組合(2,706組合)は、13,260円・4.81%(同163円増・0.04ポイント減)であった。
- 賃上げ分が明確にわかる3,042組合の賃上げ分は11,629円・3.51%(同308円減・0.24ポイント減)、うち中小組合(1,838組合)は10,037円・3.57%(同268円増・0.04ポイント減)と金額では昨年同時期を上回るとともに、率では全体を上回った。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、**時給76.32円**(同7.84円増)と、昨年同時期を上回った。時給の引き上げ率(概算)は**6.26%**で、一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃金引上げ(月例賃金) <第5回回答集計結果(5月7日集計・5月12日公表)>

①平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2026回答(2026年5月12日公表)				昨対比	2025回答(2025年5月8日公表)					
	集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計		額		率	集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計		額	率
		額	率					額	率		
	4,046 組合 2,691,253 人	16,733	5.05	円	%	▲ 16 円 ▲ 0.27 ポイント	3,809 組合 2,732,621 人	16,749	5.32	円	%
300人未満 計	2,706 組合 268,927 人	13,260	4.81	円	%	▲ 163 円 ▲ 0.12 ポイント	2,520 組合 256,643 人	13,097	4.93	円	%
~99人	1,588 組合 68,727 人	11,518	4.43	円	%	▲ 94 円 ▲ 0.12 ポイント	1,440 組合 63,734 人	11,424	4.55	円	%
100~299人	1,118 組合 200,200 人	13,864	4.93	円	%	▲ 219 円 ▲ 0.11 ポイント	1,080 組合 192,909 人	13,645	5.04	円	%
300人以上 計	1,340 組合 2,422,326 人	17,111	5.07	円	%	▲ 34 円 ▲ 0.29 ポイント	1,289 組合 2,475,978 人	17,145	5.36	円	%
300~999人	859 組合 462,765 人	15,434	5.06	円	%	▲ 290 円 ▲ 0.08 ポイント	810 組合 436,151 人	15,144	5.14	円	%
1,000人~	481 組合 1,959,561 人	17,488	5.07	円	%	▲ 82 円 ▲ 0.33 ポイント	479 組合 2,039,827 人	17,570	5.40	円	%

※2026年と2025年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨対比は整合しない。

②有期・短時間・契約等労働者の賃上げ

時給	2026回答(2026年5月12日公表)				昨対比	2025回答(2025年5月8日公表)					
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額・率	平均時給 (参考値)	額		率	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額・率	平均時給 (参考値)	額	率
単純平均	306 組合	70.36 円 5.70 %	1,302.59 円	5.34 円 0.12 ポイント	280 組合	65.02 円	5.58 %	1,231.20 円			
加重平均	845,480 人	76.32 円 6.26 %	1,294.66 円	7.84 円 0.33 ポイント	808,433 人	68.48 円	5.93 %	1,224.09 円			
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)	昨対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)	昨対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)
単純平均	90 組合	12,022 円	4.92 %	700 円	89 組合	11,322 円	4.79 %		20,434 人	11,339 円	4.77 %
加重平均	20,024 人	12,173 円	4.98 %	834 円							

2026年度 連合埼玉「男女平等月間(6月)」の取り組み

連合は、2004年より6月を「男女平等月間」に設定し、男女平等、ジェンダー平等・多様性の推進に向けて、運動と政策実現の両輪で取り組んでいます。

連合埼玉の取り組み

- ①「トップリーダーによるジェンダー平等・多様性推進宣言」ポスター作成、HP掲載
- ②ジェンダー平等・多様性推進「トップセミナー」開催

開催日時	2026年6月16日(火)14:30~16:30、	会場	あけぼのビル
内容	労使で学ぶ 治療と就業の両立支援の進め方		
- ③「男女平等参画、ジェンダー平等の推進、均等待遇、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた標語」の募集(7月表彰)
- ④あらゆるハラスメントを防止するための啓発活動 啓発チラシ入りティッシュ配布

現在予定される6月の日程表です

6月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 月	オルガナイザー研修会「養成講座」(13:30～/あけぼのビル)	
2日 火	①シニア連合「第16回チャリティゴルフ大会」(北武蔵カントリークラブ) ②第3回労働政策委員会(15:00～/連合埼玉)	
3日 水	第3回地協再編検討委員会(13:30～/連合埼玉)	共同募金会「配分委員会」(13:30～/彩の国こよかプラザ)
4日 木		連合「政令指定都市地域協議会合同会議」(4～5日/さいたま市)
5日 金	連合埼玉役員OB会「総会および交流会(昼食会)」(11:30～/東天紅大宮)	
6日 土	平和集会(13:30～/ときわ会館)	
7日 日		オール埼玉総行動(10:00～/北浦和公園)
8日 月		①埼玉県勤労者福祉センター「2026年度第1回(通算47回)理事会」(10:00～/ときわ会館) ②連合「第3回全国労働条件・中小労働担当者会議(地域ミニマム運動担当者会議)」(15:30～/WEB)
9日 火	①連合埼玉「第7回四役会議」(10:00～/ボッシュ労働組合) ②連合埼玉「第7回執行委員会」(13:00～/ボッシュ労働組合)	
10日 水		①埼玉県労働者共済生活協同組合「第6回正副委員長会議」(13:30～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ②こくみん共済 coop「第6回正副委員長会議」(14:00～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ③埼玉県労働委員会定例総会(16:00～/埼玉県庁)
11日 木	第2回地協議長・事務局長会議(14:00～/あけぼのビル)	
12日 金	「メンタルヘルスセミナー/応用編」(14:30～/あけぼのビル)	連合関東ブロック連絡会「地協活動推進会議」(12～13日/成田市勤務者会館)
13日 土		
14日 日		
15日 月		
16日 火	ジェンダー平等・多様性推進「トップセミナー」(14:30～/あけぼのビル)	
17日 水	第3回連帯活動委員会(14:00～/連合埼玉)	中央労働金庫「理事会」(13:30～/中央労働金庫本部)
18日 木		埼玉中小企業家同友会景況調査報告会(15:00～/WEB)
19日 金	①オルガナイザー研修「実践」(10:00～/埼玉県内) ②シニア連合「幹事会」「第23回全組織代表者会議」(13:00～/あけぼのビル)	県央地域協議会「幹事会」(18:30～/ろうきん上尾支店)
20日 土	災害ボランティア救援隊「隊員研修(初級)」(10:00～/あけぼのビル)	
21日 日		
22日 月	既卒3年以内および34歳以下の若年者対象就職面接会(13:15～/大宮ソニックシティ)	
23日 火		①平和行動in沖繩(23～25日/那覇市) ②中央労働金庫「第26回通常総会」(14:00～/中央労働金庫本部) ③さいたま市地域協議会「幹事会」(18:30～/あけぼのビル)
24日 水	第3回拡大アドバイザー会議(14:30～/ネット21久喜事務所)	中央労働金庫「第26回通常総会」(14:00～/中央労働金庫本部)
25日 木		①埼玉県勤労者福祉センター「2026年度定時評議員会」(10:00～/ときわ会館) ②こくみん共済 coop「第451回理事会」(13:30～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ③こくみん共済 coop「第7回代表委員会」(14:30～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ④埼玉県労働委員会定例総会(16:00～/埼玉県庁)
26日 金	①埼玉シニア連合「第4回四役会議」「幹事会」(13:00～/連合埼玉会議室) ②埼玉公務労協「第4回幹事会」・街宣活動(17:45～/浦和駅東口)	
27日 土		
28日 日		鴻巣市長選挙 告示日
29日 月		連合関東ブロック こくみん共済 coop 関東統括本部「第5回幹事会」(15:30～30日/ホテル千葉オークラ)
30日 火		

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 埼玉事業本部は、「ともに生き、ともに働く」地域社会の実現を目指し、働く人自身が出資し、話し合いながら経営に参加し、仕事の中身も働き方も自分たちで決める「協同労働」という働き方を実践する労働者協同組合です。私たちは、地域に必要な仕事を自ら創出することを目指して、清掃、物流関連事業、高齢者福祉、障がい者支援、子育て支援、若者の就労支援、生活困窮者支援など、多岐にわたる事業を展開しています。自治体や市民のみならず、他の団体との連携も重視し、単なるサービス提供にとどまらず、人と人とをつなぐ「共生の地域づくり」に力を入れています。事業本部の詳細な内容は上記二次元コードからHPを参照ください。私たちは、地域の声に耳を傾け、共に課題を解決するパートナーとして、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。



【お問合せ】 〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町2-5-15 M・Mオフィス201
 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団 埼玉事業本部
 TEL:048-844-0085 FAX:048-844-0086 Mail:saitama@roukyou.gr.jp

「男女平等参画、ジェンダー平等の推進、均等待遇、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に向けた標語

◇優秀賞 認め合おう あなたらしさが 輝く社会
 (自動車総連埼玉地協 オートテックジャパン労働組合・西館 拓史さん)

※2025年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。



◆2026年度上半期の活動を振り返って

2025年11月19日(水)に開催した「第19回定期大会」にて、2026～2027年度運動方針ならびに予算などについて承認いただいた以降、早くも6ヶ月が経過しました。

改めて、この間の活動を振り返るとともに、引き続き、連合埼玉としての役割を意識しながら、構成組織ならびに地域協議会と連携をはかり、運動をしっかりと前進させていきますので、皆様方の引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

<これまでの間の活動について>

2025年11月20日(木)から、新たに今井体制での活動がスタートしました。

具体的には、「第19回定期大会」で承認いただいた「2026～2027年度運動方針」を進めるために、執行部役員の役割分担を決定し、各種委員会をつうじながら、年間活動計画について検討・決定した上で、諸活動を展開してきました。

主要な活動について、以下のとおり振り返らせていただきます。

まずは、2月8日に執行された「第51回衆議院議員総選挙」になります。

今次総選挙は、通常国会冒頭での解散から投票日まで16日間という、戦後最短クラスの超短期決戦でありました。

そのような中、高市政権は「日本列島を強く豊かに！」を掲げ、経済再生と安全保障を前面に出した訴えで支持を広げ、自民党が小選挙区249、比例67の計316議席を獲得しました。一方、中道改革連合は小選挙区で苦戦し、比例代表で1,043万余の得票を得たものの、前回の公明・立憲民主党の合計から約709万票減と大きく後退する結果となりました。

また、埼玉県内16小選挙区では、自民党がすべての選挙区で勝利し、与野党が拮抗してきた都市部においても完全制覇という大変厳しい結果となりました。

今回の選挙結果は、重く受け止めなければなりません。今後の政治活動のあり方や手法ならびに選挙活動のあり方そのものを考え直さなければなりません。これまでの固定概念を払拭し、今の時代にあった施策を講じていくことが必要と考えています。

今次選挙の総括をしっかりとおこない、来年施行予定の「第21回統一地方選挙」での推薦候補予定者全員の必勝に結びつけていきたいと考えています。

次に、2026年2月から「2026春季生活闘争」の取り組みをスタートさせました。

今次春闘では、「こだわろう！くらしの向上ひろげよう！仲間の輪」をスローガンに掲げ、日本の実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの“賃上げノルム”としていくことが、国民経済の安定と経済の好循環を実現するカギとなります。

そのためには、賃上げのすそ野を中小企業や労働組合のない企業などに広げ、格差是正を進める取り組みを展開しました。また、自国優先主義など外的マイナス要因を乗り越えるためにも国内の消費マインドを喚起できる賃上げが必要不可欠であると捉えています。

そのような中、5月12日に示された「第5回回答集計」では、平均賃金方式で回答を引き出した4,046組合の加重平均(規模計)は16,733円・5.05%(昨年同時期比16円減・0.27ポイント減)となりました。また、300人未満の中小組合(2,706組合)は13,260円・4.81%と、金額では昨年同時期を上回った(同163円増・0.12ポイント減)でありました。加えて、有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給76.32円(同7.84円増)と、昨年同時期を上回りました。時給の引き上げ率(概算)は6.26%で、一般組合員(平均賃金方式)を上回る結果となりました。

しかし、労務費の価格転嫁の取り組みについては、課題が残る結果となっています。

先般、帝国データバンクから全国23,568社を対象にした「価格転嫁に関する実態調査結果」が示され、価格転嫁率については42.1%(昨年同期比1.5%増)に留まっており、依然として転嫁が進まない企業が少なくない結果となっています。特に、川下産業や価格決定権の弱い業種、小規模企業ほど負担が重く、交渉上の立場の弱さも顕著でありました。また、コスト上昇分を企業単独で価格転嫁することには限界が感じられ、取引慣行の見直しや交渉支援、消費者理解の促進が不可欠となっています。

引き続き、構成組織、加盟組合と連携をはかり、労務費の価格転嫁の取り組みを継続して展開していくことが重要と捉えています。

<下半期の活動に向けて>

昨今の中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や供給不安は、日本企業に極めて深刻なマイナスの影響を与えています。

本年4月に帝国データバンクが発表した企業アンケートによると、原油高が半年続けば主力事業を大幅に縮小せざるを得ないと答えた企業が、43.8%にのぼっています。また、9割以上の企業は、中東情勢の緊迫化が経営に「マイナスの影響がある」という結果となっています。

そのような中、私たちの加盟組合の企業においても影響が出はじめており、今後の状況を注視し、必要に応じた対応策を講じていくことが必要と考えています。

引き続き、構成組織ならびに地域協議会の皆様と連携し、活動を進めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

2026.5.21